

区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 再提案 (R元・8・ 第145回総会；伊那市)		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教
	<input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの		<input type="checkbox"/> 社会環境
	<input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの		<input checked="" type="checkbox"/> 経済
	<input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	林野庁
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	林務部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	22 松くい虫対策事業の特殊伐採に対する補助の拡充等について		
提案市	伊那市		
提案要旨	松くい虫対策事業について、クレーン等を使った特殊伐採に対する補助の拡充及び樹種転換の予算確保を要望する。		
提案理由	<p>長野県の松くい虫被害量は、平成25年度をピークに減少傾向にあるが依然高い水準となっている。伊那市の被害量は増加に歯止めがかからず全量駆除が出来ていない状況である。</p> <p>特に近年は、幹線道路沿いや民家近くの林地での被害が増加しており、クレーン等を使った特殊伐採の割合が増えている。</p> <p>一向に減らない松くい虫被害対策に毎年多くの予算を充て対応しているが、特殊伐採が国・県の補助対象にならないため予算の制約を受け、十分な対応が取れていない。</p> <p>倒木による被害も発生しており、早急かつ必要な対応を行うために補助の拡充をしていただきたい。</p>		
現況及び課題等	<p>令和3年度の県内松くい虫被害量は約49,000m³の被害量が報告されている。伊那市は令和3年度3,069m³の被害が報告され、平成29年度から39%増となっている。一方、処理量は平成29年度から5年平均で1,672m³、同じく処理委託費は46,770千円となり、被害が増えているのに処理量が減っている状況である。これは特殊伐採を必要とする個所が増えているのに補助対象とならないことが大きな要因となっている。</p> <p>破砕・くん蒸処理には国・県の補助があるが、より費用の掛かる特殊伐採にも同等以上の補助がなければ被害の拡大が止まらない。</p> <p>また、被害拡大防止とアカマツの有効活用を図るため、早期の樹種転換が重要と考える。</p>		
関係法令	森林病虫害等防除事業実施要領		